

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

田辺工業が団体3位

近畿高校体操選手権

近畿高校体操競技選手権大会(近畿高体連など主催)が11、12日、奈良県橿原市であり、田辺工業が男子団体で3位に入賞した。



男子団体には2府4県から14校が参加した。各校の4人が6種目を演技し、それぞれ上位3人の得点を合計して順位を決めた。

田辺工業は、ゆか、つり輪、跳馬、平行棒で高得点をマークした。総合得点は241・050点だった。

種目別では、3年の筒井宏樹君がつり輪で3位に入った。個人総合では、2年の高田佑貴君が7位に入った。筒井君、高田君以外の田辺工業の団体メンバーは、横山秀也君(3年)、山本開君(3年)、木本大晴君(2年)、今岡一斗君(1年)。6人はこのほどあった県総体で、8月25日に島根県である全国高校総体(インターハイ)への出場を決めている。

近畿大会で団体3位に入賞した田辺工業のメンバー

近畿大会の優勝は清風(大阪府)で259・400点、準優勝は洛南(京都府)で248・250点だった。田辺工業は公立高校の中では最上位。インターハイに向けて大きな自信になった。

団体メンバー主将の筒井君は「近畿大会では失敗もあつたけど、最後まで諦めなかつた。課題も分かつたので、失敗しない練習やきれいな演技を心掛け、インターハイに臨みたい」と話している。